

「住み続けられる・住みたくなるまち」を実現する6つの施策

令和3年度から令和12年度まで10年間、どのように添田町をつくっていくのか、その方向性を描いたまちづくりの指針、「第6次総合計画」の後期計画が令和8年度から始まります。

この新しい計画をつくるにあたって、町内外にお住まいの人へのアンケート調査、商工会や農業委員会、子育てサークルなどでの座談会で、皆さんからたくさんの思いを届けていただきました。

ご協力、本当にありがとうございました。

第6次総合計画で目指す姿は「みんなでまちづくり」を合言葉に「いつまでも健康で住み続けられる・住みたくなるまち」です。この実現に向け、5年間の前期計画の歩みを大切に継承しながら、今後5年間は「6つの施策」に重点を置いて取り組みます。

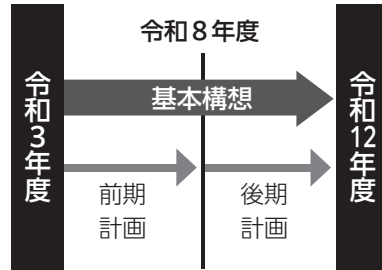
■ 役場まちづくり課政策企画係 ☎82-5965

「総合計画」とは



町政運営における計画の中でも最上位の計画です。今後、添田町をどんな町にするのか・したいのかを示した、まちづくりの指針を定めています。

「総合計画」の構成



10年間のまちづくりの指針を定めた基本構想と、5年間で実行する・実行したい施策をまとめた前期/後期計画で構成されています。

施策別の「ありたい姿」

住みたい・子育て支援・教育が住み続けたいまち 充実したまち
人が集まり 誰もが孤立せずにぎわうまち 健康に過ごせるまち
安全・安心に暮らせるまち 自立と協働のまち

誰もが孤立することなく健康で、農林業や観光産業などによる雇用創出を図り、豊かな自然環境のもと住み続けられる・住みたくなるまちを目指します。

06

多様な世代が集える福祉の拠点づくり



町内に点在する施設や機能を集約し、子どもから高齢者まで、幅広い世代が交流できる拠点を整備します。誰もが安心・安全に過ごせる、地域の新しい居場所をつくります。

05

自然を活かした魅力ある教育



英彦山をはじめとする豊かな自然は添田町の財産です。この環境を最大限に活かし、町ならではの学校教育や社会教育を実践して、次世代を担う子どもたちを育みます。

04

誰もが心身共に健康で暮らせる環境づくり



各種検診や医療機関を受診しやすい体制を整えます。また、参加したくなるような魅力ある介護予防教室などを運営し、皆さんの健やかな毎日を支えます。

03

多分野連携による働きがい・生きがいづくり



人手不足の解消に向け、福祉・農業・商工業などが手をとり合える場をつくります。事業者や地域住民が交流・連携できる取り組みを支援し、誰もが活躍できる環境を支援します。

02

道の駅歓遊舎ひこさん 英彦山を核としたにぎわいづくり



拠点施設の整備により、観光スポットを巡りやすくして滞在時間を延ばします。また、添田の魅力をも効果的に発信することで、地域での消費を増やし、活気ある町を目指します。

01

町内者が住み続けたい町外者が転入したい環境づくり



良好な住環境を守るため、道路の整備や移動手段の確保といったインフラを整えます。あわせて、子どもたちが安心・安全に過ごせる居場所をつくり、教育の充実を図ります。